

国際ロータリー第2560地区 2010～2011年度



GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



スキー体験ツアー

2月17～18日に青少年交換委員会主催で、1年交換受入学生スキー体験ツアーを妙高池の平温泉で開催。東山ガバナー、受入留学生4名、ROTEX3名ほか総勢14名が参加。

国際ロータリー第2560地区 2010～2011年度「ガバナー月信」2011年3月1日発行

CONTENTS

RI会長メッセージ	1
ガバナーメッセージ	2
バストガバナーメッセージ	3
国際協議会の報告	6
米山奨学委員長セミナー	7
受入学生スキーツアー	8
クラブバナーの紹介	9
新会員の紹介	11
出席報告	13

2010-2011年度 国際ロータリーのテーマ



ガバナー 東山昕也

事務局：〒943-0834
新潟県上越市西城町2丁目10-25
大島ビル203号

3
MAR

ロータリーのDNA

親愛なる同僚ロータリアンの皆さん



2010-11 年度 国際ロータリー会長

レイ・クリングスミス

このロータリー年度は、私たちの方針、慣習、手続きなどあらゆる面が今の時代に合っているか、改良することができるかに目を向ける革新の文化が特色です。私は多くの分野において、できること、成すべきことを確信していますが、私たちのように古くて大きな組織にとっては、時代に合わせることは驚くべきことではありません。

「中核となる価値観」がロータリーのDNA

しかしながら、同時に、私はロータリーの成功にとって大変重要なために、侵すことができないことがあるのも十分理解しています。それらは国際ロータリー(RI)の「長期計画」の中で私たちの中核となる価値観として反映されていますが、私はそれらを私たちのDNAと呼びたいと思います。それらはロータリーをほかの組織と識別する特性です。それらはロータリアンが何者であるか、また、世界中のロータリアンたちが共通して持っているものは何かを示す本質なのです。

RIの「長期計画」の中で名付けられた中核となる価値観は、「親睦」「奉仕」「高潔性」「多様性」「リーダーシップ」の5つです。若い人々は私たちが伝統的に使う「親睦」という言葉よりも「ネットワークキング」という言葉を使うのを好むようですが、私にとっては同じことです。どちらの言葉も、協力してプロジェクトを実施したり、ロータリーの会員であることをかけがえないものにしたりにして、私たちのクラブにおける友情が持続するよう導きます。友情は明らかにロータリーのDNAにとって最も大切な要素なのです。

「数多くの誇るべきもの」

ロータリアンは時代に合わせるという現行の強調事項が私たちの中核となる価値観を損なうのではなかろうか、などと心配すべきではありません。それは「売り物でないものもあることを知っておけ」とか「どこに線引きをするかを知れ」といった警告を含んだ「Cowboy logic」(注、2010年12月号RI会長メッセージ参照)とは矛盾するものかもしれません。ロータリーを一流の組織にした価値観や姿勢を変える気はないということを、私はロータリアンたちに保証したいと思います。ロータリーを世界のひのき舞台に押し上げたものの一つがポリオ・プラスです。

私たちはロータリアンとして誇るべきものを数多くもっています。今は私たちにとって至福の時であり、そして私たちのクラブがより大きく、より良く、より豊かになるよう力を貸せば、私たちの最良の日々はこれから先にあるのです。私たちの5つの中核となるべき価値観に沿って進むことで、持続的な発展はロータリーのDNAが世の中に知られるもう一つの部分となるのです。

3月は「世界ローターアクト週間」です



**国際ロータリー第 2560 地区
2010-11 年度ガバナー
東山 昶也**

【歴史】

ローターアクトは、その短いながらもダイナミックな歴史の中で、急速に発展してきました。1960年代の初頭、世界各地のロータリークラブの社会奉仕プロジェクトとして大学レベルの青年グループの提唱を開始しました。

1967-68年度のRI会長ルーサー・H・ホッジス氏とRI理事会は、このクラブ活動に国際性があると考えました。その結果、1968年ローターアクトはロータリークラブの公式プログラムとして承認されました。1968年3月13日付で最初に認証されたクラブは、米国ノースカロライナ州のノースシャルロットロータリークラブでした。数十年後、ローターアクトプログラムは、ローターアクトクラブの強力な国際的組織に発展し、150カ国以上の地理的地域におよそ8,232クラブを擁するまでになりました。ローターアクトの189,336人の会員は、地域社会のニーズの為に奉仕し、友情や仕事の輪を広げ、世界理解を深めようとする青年男女(18歳から30歳)です。

【目標】

ローターアクトは以下の目標を掲げています。

- 職業及びリーダーシップ技能を養成する。
- 個人の価値を認めるという基本に基づき、他人の権利を尊重するよう強調する。
- あらゆる有用な職業に奉仕の機会として尊厳と価値を認める。
- リーダーシップの資質及び職業上の責務として道德基準を認識、実践、推進する。
- 地元地域及び世界中のニーズ、問題、機会に対する知識や理解を深める。
- 地域社会に奉仕し、国際理解とあらゆる人々に対する善意を推進する個人や団体の活動の為に、機会を提供する。

【奉仕プロジェクト】

「超我の奉仕」は、ロータリーを導く第一の原則です。ローターアクトクラブの奉仕プロジェクトは、国内と海外の生活水準向上を目指しています。こうしたプロジェクトは、しばしば今日の最も重大な問題である暴力、薬物乱用、エイズ、飢餓、環境保全、非識字などに取組んでいます。各ローターアクトクラブは、毎年少なくとも二つの主要な奉仕プロジェクト、すなわち一つは、地域社会への奉仕、もう一つは、国際理解推進という二つの主要プロジェクトを実行しなければなりません。これらの二つの主要プロジェクトは、いずれもクラブ会員全員又は大半の参加を必要とします。

次世代を担って行く若人の皆さんの集まりであるローターアクトクラブは、世界全体で8,200以上のクラブ、18万人を超える会員を擁していますが、近年日本ではクラブ数、会員数共に、ロータリークラブ同様に減少傾向にあります。ローターアクトには年齢制限があり、RACの維持と発展という面で阻害要因になっています。またせっかくRACを卒業しても、日本ではRCへの入会がコスト的に非常に難しい問題があります。一方、日本のRCは、会員がここ数十年の間に30%以上減少し、年々高齢化しているというロータリークラブにとって大きな問題があります。日本でこの様なロータリーの構造的変化が起きている中で、RAC・IACといった重要な青少年奉仕活動を、ロータリークラブの現状と如何に調和させ、全体の活動を活性化していくか、私達はこの機会に、各クラブでよく検討してみる必要があると思います。

パストガバナー メッセージ

ロータリーの綱領について



RI.D2560.2010.-11.
PDG&地区研修リーダー
馬場信彦

私のガバナー年度である、2008-09 年度に「PETS」「地区協」「地区大会」「クラブ例会」などで、また、これらに準ずる会合の際は、「ロータリーの綱領」を朗読や唱和と、握手タイムをお願いした。現在、わが三条南では、例会次第に、「綱領唱和」「三条市民憲章唱和」「握手タイム」の3点セット実行し、クラブ例会会場が和気藹々となり定着している。

私は、三条南の創立会員で、会員歴 42 年間になるが、「綱領」の朗読・唱和は、2008-09 年度まで一度も経験が無かったし、歴代ガバナーからも、「ロータリーの綱領」についてのお話を聞いたことが無かった。しかし、毎年各クラブで作成される『クラブ現況報告書』には、我々ロータリアンが唯一拘束を受けるクラブ定款が記載されている。そこには「ロータリーの綱領は最も大切なものである」と書かれている。しかも、「会員は綱領に表明されたロータリーの原則を受諾し、定款細則の規定を遵守し、

定款細則の写しを受領しなかったことを理由として、その遵守を免れることは出来ない」と明記してあり、はっきりと釘を刺されているのである。

『ロータリーの友』2011 年 2 月号の 26-27 頁に、「ロータリーの和訳について」と、題して掲載されているので、ぜひ、精読をお願いしたい。この記事を書かれた鳥居滋氏は私と同期ガバナーで、彼はガバナー協議会で綱領等翻訳問題調査研究小委員長をお務とめて、昨年 11 月に行われた「ロータリー研究会」第 6 セッションで、あらゆる角度から綱領の翻訳問題を 1 年掛けて検討され、その成果が発表された。

鳥居委員長は、ガバナー就任早々、クラブ公式訪問の何箇所かで、「綱領」を毎回、クラブ例会で出席者全員により唱和しておられるクラブがあった。その折に、現在の「綱領」は分かりにくく何とかならないかと、質問をいただいたことがきっかけで、「綱領」をもっと分かりやすくするために調査研究を始められた。昨年 7 月、全国 34 地区 2309 クラブへのアンケート調査から始まった。同 11 月 30 日現在では、1582 クラブから回答があり回収率は 68.75%となった。当地区 2560 地区は、57 クラブ 100%の回収で、東山ガバナーの強力なリーダーシップには驚嘆した。もう一地区 100%回収は 2840(群馬県)地区であつたことを付記しておきたい。

現在、ロータリアンが拠り所としてなければならない「ロータリーの綱領」は、どのようにして生まれたのか。その変遷について以下述べてみたい。

ロータリー要綱とロータリー綱領については、定款と細則は連合会とクラブが守る規則と手続を定めたが、「ロータリーとは何か？ロータリアンは何を信じているのか？」という基本的な問いかけに答えるものではなかった。こういった中心的価値観は、もともと「ロータリーの宣言」と呼ばれたスピーチが、後に「ロータリーの綱領」にまとめられたものである。

シアトルロータリークラブがその信条を定義する要綱を作成したのは、ほぼ発足の当日であった。同クラブのジェームス・ピンカム、アーネスト・スキル、ロイ・デニーの 3 名はクラブの方針声名書に手を加え、ポートランドで開催された 1911 (明治 44) 年の第 2 回年次大会で、「ロータリーの要綱」案として発表された。5 段階からなる声明文は、会員の職業分類制度、公正正大な商取引の公約、奉仕が全ての仕事の基礎であるという考え方を提示された。要綱は、「最もよ

く奉仕する者、最も多く報いられる」という言葉で締めくくられていた。

ロータリーの要綱が採択された1912(明治45)年8月、代表者たちは連合会の「綱領」も承認した。1906(明治39)年に採択されたシカゴロータリークラブの最初の定款には、次の2つの綱領があった。

1. 本クラブの会員の事業上の利益の増大
2. 通常社交クラブに付随する親睦およびその他の特に必要と思われる事項の推進
シカゴクラブは年内に3つ目の綱領を付け加えた。

3. シカゴの最大利益の推進、および市民の誇りと忠誠とを市民間に広めること。

1910(明治43)年の全米ロータリークラブ連合会の第1回大会に出席した代表者たちは、次の新組織の5つの目標を設定した。

1. クラブの新設
2. 全クラブの共通の利益の推進
3. 市民としての誇りと忠誠心の奨励
4. 高潔なビジネス方法の推進
5. 個人会員の事業上の利益の増大

奉仕の理想への関心が高まるにつれて、ロータリアンは他者を援助する活動への関与を高めていった。1915(大正4)年のサンフランシスコ大会で、代表者たちは第5の目的を拡充し、第6の目的を加えた。

5. 地域社会の公共の福祉に対するクラブ会員の関心を高め、かつ、市、商工業の発展のために他の人々と協力すること

6. 同僚や社会一般のために奉仕したいという意欲を起こすよう会員を鼓吹すること

1918(大正7)年、国際連合会は再び改正を行い、綱領は4点にまとめられた。しかし、クラブとプロジェクトが急激に増大したため、この綱領は間もなく不適切となり、再び6点から成る綱領に改定された。その後、ロータリーは繰り返し、組織自体の定義を微調整し、1951(昭和26)年にその最も重大な最後の変更が行われた。ロータリーには「有益な事業の基礎として奉仕の理想を鼓吹し、これを育成する」という実際ただ一つの綱領があると決定されたのがこの時であった。この崇高な目的を固く前面に打ち出したあと、ロータリアンが綱領を成就する4分野が次のように説明された。

第1 奉仕の機会として知り合いを広めること；

第2 事業および専門職務の道徳的水準を高めること；

あらゆる有用な業務は尊重されるべきであるという認識を深めること；

そしてロータリアン各自が、業務を通じて社会に奉仕するために、その業務を品位あらしめること；

第3 ロータリアンのすべてが、その個人生活、事業生活および社会生活に常に奉仕の理想を適用すること；

第4 奉仕の理想に結ばれた、事業と専門職務に携わる人の世界的親交によって、国際間の理解と親善と平和を推進すること。

ロータリー105年の歴史の中で、時代やその背景の変化に伴って、定款や細則の文言は変わってきた。今後も時代の変遷の中で進化していくであろう。しかし、105年間、受け継がれてきたロータリーの心、精神を高めて行きたいものだ。

引用文献『ロータリーの友』2001年2月号

『ロータリー日本50年史』

『奉仕の一世紀 国際ロータリー物語』

『小学校でお話しする「ロータリーの綱領」』故佐藤千寿〔第2580地区PDG〕

下記に、①「ロータリーの綱領」原文、②日本文、③意識文を掲げておくので、さらに「ロータリ

一の綱領」を身近にし、より理解を深めて欲しい。

①「ロータリーの綱領」原文

—OBJECT OF ROTARY—

The Object of Rotary is to encourage and foster the ideal of service as a basis of worthy enterprise and, in particular, to encourage and foster:

First. The development of acquaintance as an opportunity for service;

Second. High ethical standards in business and professions; the recognition of the worthiness of all useful occupations; and the dignifying of each Rotarian's occupation as an opportunity to serve society;

Third, The application of the ideal of service in each Rotarian's personal, business, and community life;

Fourth. The advancement of international understanding, goodwill, and peace through a world fellowship of business and professional persons united in the ideal of service.

②「ロータリーの綱領」日本文

ロータリーの綱領は、有益な事業の基礎として奉仕の理想を鼓吹し、これを育成し、特に次の各項を鼓吹、育成することにある：

1. 奉仕の機会として、知り合いをひろめること；

2. 事業および専門職務の道徳的水準を高めること；

あらゆる有用な業務は尊重されるべきであるという認識を深めること；

そしてロータリアン各自が、業務を通じて社会に奉仕するために、その業務を品位有らしめること；

3. ロータリアンすべてが、その個人生活、事業生活及び社会生活に常に奉仕の理想を適用すること；

4. 奉仕の理想に結ばれた、事業と専門職務に携わる人の世界的親交によって、国際間の理解と親善と平和を推進すること。

③「ロータリーの綱領」意訳文

どんな職業でも、“利益は奉仕に対するご褒美として与えられるものでなければならない”というのが、ロータリーでいう「奉仕の理想」である。だから、そういう理想を、さらに一層高めて、これを世界中に広げていくのが、私たち会員の目的であり、そのためには、特に次に述べる4つのことが大切である。

(1) こういう奉仕の理想に賛成してくれる仲間をたくさん増やすこと。

(2) だれから見ても道徳的に怪しまれることがないように、誠実に良心的な仕事をする事；

職業上の取引は対等であって仕事の上下の差はない—いつもお互いに相手の立場を尊重し感謝すること；社会に奉仕するための職業なのだから、自分の職業は品位あるものでなければならない。

(3) 私たち会員は個人的な日常生活でも、職場でも、また広く社会的な関係でも、常にみんなのためになるかどうかを考え、奉仕の精神で行動しなければならない。

(4) こういう奉仕の理想を身に付けて、それぞれの仕事に精出している世界中の人々と友だちになり、相手の国のことも良く理解しあって、戦争のない平和な世界をつくること。

以上

「こころの中を見つめよう 博愛を広げるために」

ガバナーエレクト 石本隆太郎

1月15日、日本を後にし、途中、ロサンゼルスに1泊し、1月16日に国際協議会会場となるマンチェスター・グランド・ハイアットサンディエゴに到着。田中作次 RI 会長ノミニーご夫妻はじめ、黒田理事ご夫妻、近藤理事ご夫妻、研修リーダーの熱烈歓迎を受けました。

1月17日(月)、いよいよ国際協議会がスタート。9時からの本会議「入りて学ぶ」では、全世界200を超える国や地域より集まった532地区のガバナーエレクトとその配偶者、千数百人が一堂に会し、緊張と感動の内に、国際協議会の幕が切って落とされました。

クリンギンスミス会長の司会進行の下、加盟国の国旗紹介や、RI 役員紹介があり、この日のハイライトは、最後にカルヤン・バネルジーRI 会長エレクトご夫妻が登場して発表された2011-12年度・RI テーマでありました。背後の大スクリーンに、シンボルマークとともに、「Reach within Embrace Humanity」の文字が映し出されると、全員総立ちの拍手と興奮の渦に包まれました。

講演の中で、バネルジー会長エレクトは、第一に「家族」、第二に「継続」、第三に「変化」の三つを強調事項としてあげておられます。「継続」と「変化」は、私の地区運営方針の中で織り込み済みでありましたので、今後「家族」ということを、どのように運営方針に取り込み、皆さんに訴えかけるかが、私に与えられた課題の一つです。

5日間の全体会議では、様々な分野において活躍しているロータリアンが登場し、それぞれの経験等をもとに、素晴らしい講演されましたが、最終日「出でて奉仕せよ」晩餐会の最後に語られたバネルジー会長の閉会挨拶は圧巻で、外国人の多くは涙を流してのスタンディング・オベーションで、私たち夫婦も思わずもらい泣きをしてしまいました。

2班に分かれての分科会はセッションの数が多すぎて、やや消化不良気味でしたが、貴重な体験をさせていただいたことを、心から感謝申し上げ、今後の地区運営に生かしてまいります。



第2回米山奨学委員長セミナー報告

米山奨学委員長 新保 清久（新潟万代RC）

第2回米山奨学委員長セミナーが平成23年2月5日に上越市のやすねにて開催されました。

ご出席者は、東山ガバナー、米山記念奨学会の大島理事、各分区のAG、現、次年度クラブ米山奨学委員長あわせて71名の皆様からご参加いただきました。



最初に東山ガバナーから米山記念奨学事業の基本理念や1人当たり18,000円の地区目標額の達成や、1月15日に開催されました奨学生選考試験の様子などをお話いただきました。

委員長挨拶のあと7分区のクラブ代表者から現状報告の後9グループに分かれて「クラブではどのようにして寄付金を集めていますか」というテーマで話し合い、発表していただきました。

結論的にはクラブで米山奨学事業の理解が進むと寄付金が集まりやすいということでした。他には、卒業後に音信不通になる人が多いこと、奨学生が中国人に偏っていること、日本の困窮学生の援助も必要なのではないか等の意見が出ました。

最後にカウンセラーと米山奨学生の体験報告がありました。

寺嶋一夫さん（新潟東RC）から音信不通の元奨学生と10年ぶりに会った、あるカウンセラーのお話や、寄付集めだけが米山奨学委員長の仕事ではなく、地区の米山奨学事業に参加して理解を深めてくださいという話がありました。

米山奨学生の付永娟さんからは、奨学金を頂けるようになってから勉強に専念できるようになったことや、世話クラブの例会に出る度に会員から元気づけられて、例会がとっても楽しみで、カウンセラー、世話クラブとは一生の付き合いをしたいと思っているという話。

陳惠萍さんからは米山奨学生の選考試験を受験する時に笑顔で面接を受けることにしたら、合格した。お陰さまで複数の会社から就職内定をもらいました。という明るい報告がありました。

最後になりますが、このセミナーで参加者は、改めて米山奨学事業の歴史や意義、継続の重要

性を理解して、今後も真摯に取り組んでいただけるものと確信しました。



青少年交換委員会スキー体験ツアー

地区青少年交換委員長 加藤 祐介 (新潟南RC)

2月17日～18日に青少年交換委員会主催で1年交換受入学生スキー体験ツアーを行った。今年、妙高池の平温泉スキー場で開催した。参加者は夜から駆けつけていただいた東山ガバナ一、丸山地区副幹事、受入留学生4名、ROTEX3名(留学経験者)委員関係5名の総勢14名であった。

4名の留学生は全員が日本に来て初めてスキーを経験したとのこと。しかし、そこは高校生の若さと順応性の早さ。みるみるうちに上達していった。特にポーン(タイ、頸北RC)は3ヶ月ほど前に初めて雪を見て、スキーを履くのも今日が初。最初は転んだら起き上がることも出来なかったが、丸山副幹事の2日間に渡る熱心なマンツーマンレッスンで最後には華麗なボーゲンを披露してくれた。レイチェル(アメリカ、頸北RC)はROTEX木下摩



璃華さんと休みなく滑り続け、かなり腕をあげた。フィリップ(アメリカ、新潟東RC)はスピードあげ、林の中まで突進して行き、満喫していた。アンジェロ(ブラジル、新発田RC)はなんと、スノボを新調して気合充分。最後までゲレンデに残り、一生懸命練習していた。「あと5日間ぐらいここに居たい」と言ってすっかりハマッタようだ。

我々、ロータリアンは脚が痛いのだ、腹がつただのと口だけはよく滑っていた。

バイキングの夕食を動けなくなるほどいただき、温泉で体を癒した後は、学生たちは久しぶりの再会に学校のこと、ホストファミリーでの生活のことなど情報交換に話はつきなかつたようだ。ここでふと気付く。4人同士の会話はほとんど日本語で交わされている。アメリカ人同士でも日本語中心である。ポーンは昼食のラーメンを食べながら「わたし猫舌なの」と言う。来日してちょうど半年が経つ。大人から言わせればたった半年である。問い掛けには95%は的確に答える。残りの半年で完全に日本人になってしまう勢いに日々、彼らは努力しながら生活していることを実感する。そんな意欲旺盛な若者たちだからスキーなんて朝飯前なのかもしれない。



帰路のバスはさすがにみんなダウンしていた。そんな寝顔を見ていると、我が子のように見えてくる。あと半年、これからは企業訪問や関西旅行で歴史の勉強を予定している。

さらに日本を理解して、立派な国際親善大使になってくれることが我々、青少年交換委員会の使命であり、喜びである。

Club Banner

各クラブ自慢のパナーを紹介します



新発田ロータリークラブ



村上ロータリークラブ



水原ロータリークラブ



中条ロータリークラブ



新発田城南ロータリークラブ



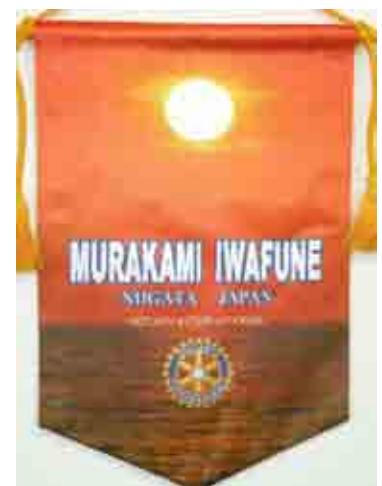
豊栄ロータリークラブ



新発田中央ロータリークラブ



中条胎内ロータリークラブ



村上岩船ロータリークラブ



新潟ロータリークラブ



新潟東ロータリークラブ



新潟南ロータリークラブ



佐渡ロータリークラブ



新潟西ロータリークラブ



佐渡南ロータリークラブ



新潟北ロータリークラブ



新潟中央ロータリークラブ



新潟万代ロータリークラブ

新入会員紹介 (敬称略)



宮木 勢
新日本鉄鉱(株)
新潟支店長
新潟RC
23年2月1日入会



渡辺 修
(株)印屋
代表取締役
新潟南RC
23年1月5日入会



小島 正晴
社会保険労務士法人
こじま事務所
所長
新潟南RC
23年1月5日入会



須崎 涼典
司法書士法人
東にいがた合同事務所
社員司法書士(所長)
新潟南RC
23年1月12日入会



吉田 和広
(株)レンタック
代表取締役
新潟西RC
22年11月11日入会



板垣 幸雄
(株)板垣鉄工所
代表取締役
新潟北RC
22年11月1日入会



藤田 浩
(株)日本旅行 燕三条支店
支店長
三条RC
23年1月26日入会

大久保 亘
(株)阿賀の里
専務取締役
阿賀野川ラインRC
22年12月1日入会

山口 周一
山口オート
代表
阿賀野川ラインRC
22年12月27日入会



佐藤 康夫
(有)きふね
取締役
加茂RC
23年1月20日入会



本名 一雄
ヤマトヤ 西加茂店
店長
加茂RC
23年1月20日入会



中野 元栄
農業
加茂RC
23年2月17日入会



渡邊 輝美
桶孫造花店 代表
頸北RC
22年6月30日入会



武藤 正信
農業
頸北RC
23年1月1日入会



鈴木 修一郎
すずき医院 医院長
糸魚川 RC
23年1月1日入会

物故会員

故人のご冥福をお祈りいたします



古畑 保 様
22年12月25日 ご逝去
古畑保税理士事務所 所長
糸魚川RC

3月 地区の予定

日	曜日	行事	会場
5	土	米山奨学生歓送会	長岡グランドホテル
6	日	第2560地区 41回ローターアクト地区大会	ハミングプラザVIP三条
13	日	1年交換プログラム派遣第1回オリエンテーション	ANAクラウンプラザホテル新潟
15	火	第5分区親睦交流会	柏崎ベルナール
19	土	石本年度2011～2012会長エレクトセミナー(PETS)	イタリア軒
24～ 28	木～ 月	インターアクト海外研修	中華民国台湾省台北
26	土	栃尾RC40周年	栃尾産業交流センター

文 庫 通 信 (281号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万3千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

地区大会記念誌より

- ◎ 「RI会長代理挨拶・RI現況報告」 ビチャイ・ラタクル 2010 7p (D.2660)
- ◎ 「“THE POWER OF ONE”のいわれ」 渡辺好政 2010 3p (D.2500)
- ◎ 「クラブを活性化し、未来への夢を持とう！(RI長期計画とクラブ活性化)」
南園義一 2010 22p (D.2780)
- ◎ 「水・保健と飢餓・識字率向上の青森県版を作ろう」 黒田正宏 2010 6p (D.2830)
- ◎ 「ロータリーの目指すもの」 藤川享胤 [2010] 9p (D.2550)
- ◎ 「地区リーダーの皆様へ」 山本茂生 2010 5p (D.2690)
- ◎ 「中国の教育現場でロータリーの精神を」 金美林 2010 5p (D.2640)
- ◎ 「日韓によせるロータリーの希(ねが)い」 崔相龍 2010 5p (D.2780)

[上記申込先：ロータリー文庫(コピー/ PDF)]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル3階
TEL (03)3433-6456・FAX (03)3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
開館=午前10時～午後5時 休館=土・日・祝祭日

第2560地区 2010-11年度 1月末時点出席報告

R	C	例会数	出席率	会員数			
				7月1日現在	1月末日現在	女性	増減
第1分区(9クラブ)			86.36	327	334	27	7
1	新発田	3	93.69	76	76	0	0
2	村上	4	83.33	36	36	6	0
3	水原	3	81.40	23	23	1	0
4	中条	4	85.14	36	37	2	1
5	新発田城南	4	94.61	45	45	6	0
6	豊栄	3	82.53	21	21	3	0
7	新発田中央	3	87.68	43	46	3	3
8	中条胎内	4	87.93	28	29	3	1
9	村上岩船	3	80.95	19	21	3	2
第2分区(9クラブ)			86.11	380	403	20	23
10	新潟	3	81.47	80	84	0	4
11	新潟東	4	98.96	51	54	2	3
12	新潟南	4	91.85	65	74	0	9
13	佐渡	3	76.00	14	15	0	1
14	新潟西	3	84.95	29	31	0	2
15	佐渡南	3	94.31	43	45	6	2
16	新潟北	4	78.47	35	36	0	1
17	新潟中央	3	86.11	24	24	3	0
18	新潟万代	4	82.91	39	40	9	1
第3分区(6クラブ)			81.98	153	149	6	-4
19	新津	3	84.00	25	25	0	0
20	村松	3	100.00	7	7	0	0
21	五泉	4	77.40	25	23	2	-2
22	白根	4	92.22	51	51	2	0
23	新津中央	3	88.24	35	33	1	-2
24	阿賀野川ライン	3	50.00	10	10	1	0
第4分区(11クラブ)			80.92	393	390	22	-3
25	三条	3	82.54	53	54	0	1
26	燕	4	77.67	28	29	0	1
27	加茂	3	88.18	37	37	5	0
28	三条南	3	95.52	51	50	0	-1
29	分水	3	91.18	33	33	2	0
30	見附	4	70.00	17	17	0	0
31	吉田	4	85.00	40	41	5	1
32	三条北	3	75.64	70	68	4	-2
33	巻	4	82.10	15	14	0	-1
34	田上あじさい	3	66.60	8	6	1	-2
35	三条東	4	75.64	41	41	5	0

R	C	例会数	出席率	会員数			
				7月1日現在	1月末日現在	女性	増減
第5分区(7クラブ)			87.95	307	307	26	0
36	長岡	3	87.35	42	42	2	0
37	柏崎	3	85.93	44	44	0	0
38	長岡東	3	89.70	68	68	6	0
39	柏崎東	3	96.30	45	46	2	1
40	栃尾	3	85.71	20	21	0	1
41	長岡西	3	86.19	42	41	4	-1
42	柏崎中央	3	84.44	46	45	12	-1
第6分区(6クラブ)			81.76	148	148	9	0
43	十日町	3	98.89	30	31	0	1
44	小千谷	4	68.93	34	34	4	0
45	雪国魚沼	4	78.80	23	23	2	0
46	十日町北	3	92.75	23	23	1	0
47	津南	3	79.16	24	24	2	0
48	越後魚沼	3	72.00	14	13	0	-1
第7分区(9クラブ)			79.80	328	334	21	6
49	高田	4	81.16	74	76	1	2
50	直江津	3	81.81	43	43	2	0
51	新井	4	71.42	34	35	2	1
52	糸魚川	4	81.92	35	36	0	1
53	妙高高原	2	66.66	8	7	0	-1
54	高田東	2	81.95	36	36	2	0
55	糸魚川中央	4	81.58	38	38	0	0
56	頸北	3	96.30	17	18	1	1
57	越後春日山	3	75.38	43	45	13	2

クラブ数	57
7月1日現在会員数	2,036
1月末日 現在会員数	2,065
女性会員数	131
純増減会員数	29
当月平均出席率	83.48